

ときわ交配

ズバリ163 イチ ロク サン

ハウス抑制・半促成栽培から西日本のつる下げ栽培まで、幅広い作型で高い評価!

適作型

7月~10月、
12月~4月まき

ハウス抑制、
促成(暖地促成)、
半促成栽培

雌花着生

7~8月まきで30~40%、1~2月まきで80~90%となり、いずれの播種期でも1~2果成りである。

収量性

初期からの開花・肥大早く、最初から最後まで収量性に富む。特にハウス抑制裁培の後半では果実肥大が良く、安定した収穫量を維持できる。



ハウス 品種

草姿

肉厚な濃緑色の葉で葉柄が立ち、枝は太めでゆっくりと確実に発生し、しっかりとした草姿となる。主枝・側枝ともに節間が間伸びしにくい。

果実

果長21cmで果重100g、きれいな円筒形で尻細・尻太果の発生少なく、果形の安定性に優れる。収穫期全般にわたって、光沢のある果実がなり続ける。

ズバリ163の作型

播種期 ●——● 定植期 ●——● 収穫期 ■



※ 播種・定植期は産地によって調整してください。

“作る”を感動に変える、おいしさを届けて60年。

株式会社 ときわ 研究場

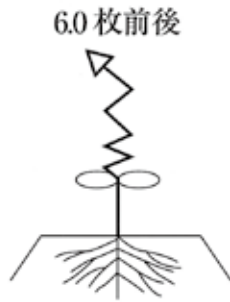
URL <https://tokiwa-cucumber.com/>

本社 〒355-0167 埼玉県比企郡吉見町田甲1087

TEL.0493-54-1155 FAX.0493-54-1332

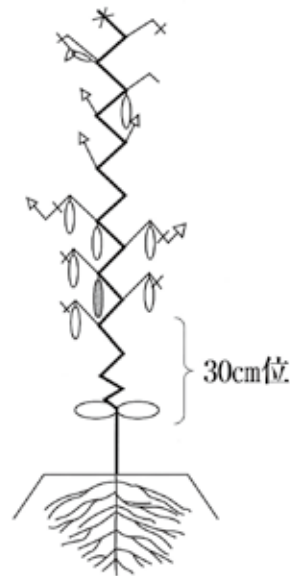
- 東北営業所 岩手県北上市 TEL.0197-68-2840
- 中部営業所 長野県上田市武石 TEL.0268-85-3560
- 福島営業所 福島県須賀川市 TEL.0248-75-1594
- 宮崎営業所 宮崎県宮崎市佐土原町 TEL.0985-73-3437

活着



- ・ベット作りの前に充分灌水をベットの中心部（鉢底下）の水分を作る。
- ・定植後活着するまでは、株回り灌水を行う。
- ・5～6枚位の活着を目指す。
- ・完全活着後成長点が1～1.5枚展開後から徐々に水分を控える。

主枝ピンチ



- ・主枝は15～16節ピンチとする。
(150～160cm)
- ・主枝または側枝の雌花開花後に少量灌水し肥大を促す。
- ・子枝は1節止めを基本とする。
- ・4～5節(30cm位)の側枝は早めに摘み取る。
- ・下枝整理後、下位2～3節の子枝の孫枝は除去、子枝も収穫後除去する。
- ・孫枝を必要に応じて2～3本放任し草勢を維持する。
- ・摘葉は早い時期から行い、混み合っている部位から摘み取る。

収穫期

